

個別施策管理シート 対象事業年度 平成 24 年度

個別施策19

政策	4 環境にやさしい港	施策推進 責任者	企画調整室長 総合開発担当部長
基本施策	06 秩序ある港湾環境づくり		
個別施策	19 循環型社会の形成を支援する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、港湾利用者、廃棄物を排出する企業
	サービスの対象物(何を)	都市・港湾活動に伴い発生する廃棄物、循環資源
	意図(どういう状態にしたいのか)	適切に処理・再生し、都市・港湾活動を円滑に持続させる
内容	循環資源貨物の増加に対応して、静脈物流拠点の形成を進めるとともに、背後地域より発生する廃棄物や港湾施設維持に伴うしゅんせつ土砂について海面処分場の確保を図り、循環資源や廃棄物を適切に再生・処理し、都市・港湾活動が円滑に持続できるようにしていきます。	
目標	しゅんせつ土砂、廃棄物の処分場の確保を図るとともに、静脈物流にかかる取扱貨物量増加への対応を図ります。	目標達成に影響する外的要因等 世界の景気動向による貨物量の減少

成果指標	年・年度実績等		H20	H21	H22	H23	H24	目標	指標の説明(式)
	実績	万トン	173	217	192	191	217	前年比増	
静脈物流にかかる取扱貨物量	達成率	%	100.0	125.4	88.5	99.5	113.6		
しゅんせつ土砂処分場確保容量	実績	万㎡	0	0	0	0	0	930	・27年度目標 ・計画処分量から処分実績及び仮置き場容量を除いたもの
	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
一般廃棄物受入可能容量	実績	万㎡	0	0	0	0	0	10	・26年度目標 ・稲永及び弥富ふ頭の護岸整備完了後、受け入れを開始します。
	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値(年度)	平成24年度実施事業に基づく評価結果					
					実績	実績	実績見込み		平成24年度末までの状況※1	事務事業※2	成果※3	コスト※4	備考(判断の理由・目標年次の変更等)	
					上段: 指標達成状況									
下段: 事業費(千円・人件費込)														
	(企画調整室) 企画担当	しゅんせつ土砂処分場計画に向けた調整(個19事01)	継続的に発生するしゅんせつ土砂の大規模処分先について、国土交通省中部地方整備局と調整するとともに、土砂処分場の確保に向けた検討・調査を行い、しゅんせつ土砂処分場計画を策定します。	検討内容の進捗率(%)	90.0	95.0	95.0	100 累計 (H24)	やや遅れ	延伸	↖	➡	国と継続して検討を行い、早期に計画の策定を図る必要があるため。	
	(企画調整室) 計画担当	一般廃棄物最終処分場計画への協力(港湾計画の策定)(個19事02)	稲永ふ頭における名古屋市の一般廃棄物最終処分場計画に関する調整を行います。	港湾計画に位置づける				1 (H20)	完了					
	(企画調整室) 環境担当	静脈物流拠点配置計画の策定(港湾計画の策定)(個19事03)	静脈物流への対応方針に基づき、静脈物流関連の貨物及び企業立地の動向を調査研究し、西部地区の静脈物流拠点の適正な配置の検討を行います。	策定進捗率(%)				100 (H21)	完了					
	(企画調整室) 事業担当	稲永ふ頭廃棄物処理場の事業化(個19事04)	稲永ふ頭における埋立護岸等の基本設計を行い、国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)				1 (H20)	完了					
	(企画調整室) 事業担当	弥富ふ頭第1貯木場南側廃棄物処分場の事業化(個19事05)	弥富ふ頭第1貯木場南側における廃棄物埋立護岸の基本設計を行うとともに、国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)				1 (H20)	完了					
	(建設部) 金城・南5区開発担当	南5区第2期土砂処分場に関する調整(個19事06)	南5区第2期開発に係る現況把握及び地元関係者との情報交換を行います。	地元関係者の合意形成(件)	0	0	0	24 (-)	遅れ	継続	➡	➡	地元関係者と継続して情報交換を行い、合意形成を図っていくため。	
◎	(企画調整室) 事業担当	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業(個19事07)	稲永ふ頭に廃棄物埋立護岸を整備し、一般廃棄物及びしゅんせつ土砂等の処分場を整備します。規模: 4.9ha	事業進捗率(%)	1.0	1.2	34.2	100 累計 (H26)	順調	継続	➡	➡	計画通り順調に取り組む必要があるため。	
○	(企画調整室) 事業担当	弥富ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業(個19事08)	弥富ふ頭第1貯木場南に廃棄物埋立護岸を整備し、しゅんせつ土砂処分場を整備します。規模: 9.6ha	事業進捗率(%)	20.2	30.3	57.5	100 累計 (H25)	順調	継続	➡	➡	計画通り順調に取り組む必要があるため。	
				施策コスト(事業費合計)	350,155	194,970	1,710,128							

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。  
注) 目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

平成25年度以降の取組の方向性		平成25年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
区分	成果※3	コスト※4	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場の確保に向けて取り組んでいきますが、コストは厳しい財政状況を踏まえ、維持とします。</li> </ul>
拡大維持縮小	↗	➡	

今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場の確保は、本港の重要な課題であり、処分場の処理能力を考慮し、早期に関係者の協力を得て、目標年次の見直しを行い、計画の策定を図っていきます。</li> <li>稲永ふ頭及び弥富ふ頭の廃棄物埋立護岸整備は、目標年度の完成を目指して、着実に事業進捗を図っていきます。</li> </ul>	

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

前年度の評価結果を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場であるポートアイランドは、限界に近づいており、国が22年度より開始した新たな土砂処分場計画の検討、調整を行っていますが、関係者の理解が得られていないため、目標年次の見直しを行う必要があります。</li> <li>稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業については、名古屋市の一般廃棄物の受け入れを行うため、24年度から護岸整備に着手しました。</li> <li>弥富ふ頭の廃棄物埋立護岸整備事業は、護岸整備を引き続き行いました。稲永ふ頭及び弥富ふ頭の整備につきましては、引き続き目標年度に向け着実に整備を図っていく必要があります。</li> </ul>	
構成事務事業の適正性(構成される事務事業で個別施策の目標を達成できているかどうか。できていない場合は改善策を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の構成内容は概ね適正です。</li> </ul>	

